

# 三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針（案）に対する 市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方について

## 1 実施概要及び結果

(1) 実施期間 11月1日（木）～12月3日（月）

(2) 閲覧、周知方法

ア 教育総務課、市民情報ひろば（市役所本庁舎1階）での閲覧

イ 各市民センター、総合福祉保健センター、多世代交流館での閲覧（市内11カ所）

ウ 各市立学校、幼稚園での閲覧（市内39カ所）、市内就学前施設への基本方針案の配布

エ 市ホームページでの周知、閲覧

オ SUNだっこメールの配信（11月1日）

カ 広報紙「伸びゆく三田（11月1日号）」に掲載、市立小学校及び市内就学前施設の保護者へ周知ビラの配布

(3) 意見の提出方法

住所、氏名、電話番号を記入して、郵送、ファクス、eメール等で提出（様式は自由）

(4) 意見件数 40件（12名）

## 2 意見の概要と市の考え方

【方針（案）を修正するもの】…0件

【提案として、今後の取組の参考とするもの】…40件

## 3 意見の内訳

区 分	件数	区 分	件数
I 1 基本方針策定の趣旨および背景	1件	II 3（3）認定こども園	4件
II 2 望ましい集団規模	5件	II 3（4）適正配置	11件
II 3（1）3歳児保育	6件	その他	8件
II 3（2）預かり保育	5件	総 計	40件

## 【提案として、今後の取組の参考とするもの】

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
<b>I 基本方針策定にあたって</b>			
<b>1 基本方針策定の趣旨および背景</b>			
1	9-①	統廃合により幼稚園がなくなることは、地域の未来が無くなってしまいうような絶望感と寂しさを感じるものだが、幼稚園に通うわが子の様子から、大人が言い聞かせるのではなく子ども同士が肌で感じ学び合う集団生活の大切さを強く感じている。様々な意見があると思うが、子どもにとって何が一番良いかを考えた時、この基本方針（案）に賛成する。	ご意見の通り、幼児期の子どもたちが集団生活を通して質の高い保育、教育を受けられることを第一の目的として、三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針（案）（以下、「基本方針（案）」と表記します。）を策定しました。三田の子どもの未来のために望ましい保育、教育環境の実現に努めてまいります。

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
<b>II 今後の市立幼稚園のあり方について</b>			
<b>2 望ましい集団規模</b>			
2	4-①	年少児には、集団生活が初めての子もおり、成長段階に差も大きいことから、20人前後が望ましい。	<p>学校教育法、幼稚園教育要領に照らし「幼稚園教育の目的」や、「それを実現するための目標」、「幼児期において育みたい資質・能力」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具現化するために必要となる集団規模（以下「望ましい集団規模」と表記します。）については、三田市立学校園のあり方審議会（以下、「審議会」と表記します。）においても各委員から様々な意見が出され「おおむね15～30人が望ましい」との答申（以下、「審議会答申」と表記します。）が出されました。</p> <p>基本方針（案）でも審議会答申を尊重し「1学級の人数は同年齢で15～30人」としているところです。</p> <p>年少児は園生活に慣れてくると、様々なことに興味・関心を持ち、小集団の中で遊びが展開されるようになります。いろいろな遊びの面白さに刺激を受けたり、友だちとの多様な関わりの中で経験の幅を広げたりしながら、他者と関わる力を身につけていきます。これら、小集団で関わり合っ活動を進めていくことを考えると、最低でも15人以上の人数が望ましいと考えます。</p>
3	11-⑨	幼児期に他者とかかわり合い方の基礎を築くのだとすれば、1クラス10～20人くらいが良いのではと感じる。	

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
4	8-①	<p>「望ましい集団規模」を一律に「1学級の人数は同年齢で15～30人」と定めては、その実現は現実的に困難あるいは不可能であろう。</p> <p>「望ましい集団規模」の算出過程を見ると、「三田市立学校園のあり方審議会」においては、このくらいの規模がうまくいっている気がする、といった保護者、教育者の感想を根拠として議論がすすめられており、教員を対象とした全国幼児教育研究協会による「幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究」（平成23年：以下当調査）は、教員を対象とした意識、実地調査であり、当時既存の制度、技法において幼児教育を十全に「やりやすい」集団規模を示唆するまでのデータである。</p> <p>審議会の議論も当調査も同様に、現行制度下での養育者側の印象、態度を述べたものである。わが市特有の事情下にあつて、どのような幼児教育が、どのような集団規模で、もっともよく実現できるのかについては、これらのデータや議論はほとんど論拠となっていない。</p> <p>三田市ならではの事情、特性を生かした幼稚園教育のあるべき姿とはどんなものなのか、わが市独自の視点からの根拠ある方針が目指されるべきと指摘したい。</p> <p>人的、経済的コストの最適配分方針、集団規模に応じた養育方法等々、市内の大学とも連携した体系的継続的な調査研究による開発、検証を行うことも重要だろう。</p> <p>そのためには、まず第一に、わが市は新制度、新要領に基づいてこんな幼児教育を行いたいという三田市民が共有する教育理念を明確にし、そこから諸政策を評価していく姿勢をとりつづけねばならない。</p> <p>一般論からの直線的な推察によって早急な改変を目指すのではなく、わが市の特殊事情こそを絶好の状況と捉えられるような幼稚園教育とその思想を追及する視点を忘れてはならない。さもなくば、他所の余裕綽</p>	<p>幼稚園、保育園における望ましい集団規模については、審議会において資料として提示しました全国幼児教育研究協会による「幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究」（平成23年）をはじめ多くの調査、研究が実施されており、調査方法としては、保育者への質問紙による意識調査、保育者や幼児を対象とした観察調査、保育室等の環境を対象とした計測調査等、多岐にわたっています。</p> <p>審議会では、望ましい集団規模を検討するにあたっては、「幼稚園教育の目的」や、「それを実現するための目標」、「幼児期において育みたい資質・能力」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などについて、学校教育法や幼稚園教育要領に照らし、共通認識を図るとともに、これらを具現化するために必要となる「集団規模」について検討しました。その中で、「幼稚園の時期は、子どもたちが子どもたちから学ぶ大事な時期であり、集団の中で、社会性を身に付けたり、経験の中から、子どもたちが気づいていくことができる環境が必要である。」、「人数の多い中で、子どもたちが様々なことを学んでいくことが大切である。」などの意見が出されました。</p> <p>また、具体的な人数として「15人いると、グループで話し、それを広げ、生活・遊びの流れを作ることができる。」、「集団を作り子どもたちの成長を促すため、15人を保障することが必要である。」などの意見が出されました。</p> <p>各種調査、審議会答申のいずれにおいても、教員が「やりやすい」集団規模ではなく、子どもたちの成長過程における、望ましい集団規模について示されたものであり、基本方針（案）はこれらを踏まえて策定したものであります。</p> <p>本市は多様な地域性を備えていますが、地域によってこの望ましい集団規模が異なるとは考えておりません。どの地域であっても、子どもたちの成長のためには、望ましい集団規模の中で、多様な個性や考えに触れ、学び合い、育ち合うことが何より大切と考えます。</p> <p>本市では、市立幼稚園において、「豊かな心でたくましく生きる力」の育成にむけ、兵庫教育大学から講師を招聘し指導助言を受けながら、園の実態に応じた研究をすすめてきました。</p> <p>その中で、様々な友達との関わりが興味、関心の幅を広げたり、多様な感情体験を通して、自己をコントロールしたり、他者と協力して物事に取</p>

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
		<p>縹の自治体と同じことを不完全に実施しているだけ、という不幸に終わるとの意見を、ここに保護者の立場から述べた。</p>	<p>り組んだりする姿につながっていくという研究結果が出ています。今後も三田の子どもたちの実情に合った教育のあり方について研究を継続すると共に、公立、私立の別なく幼稚園、保育園、認定こども園等の就学前施設と小学校との連携を深め、子どもたちの育ちと学びを学校生活につなげられるように、幼児一人一人の発達段階に応じた幼児教育を進めてまいります。</p>
5	11-②	<p>1クラスが望ましい人数に満たない幼稚園があっても良いと思う。 （松が丘幼稚園の園児が皆、生き生きとしており、入園を決めた。少人数ならではの温かい雰囲気、子どもたちは元気いっぱい成長しているように思える。人数の少ない中で、先生やお友達としっかり向き合えるところが良いと思う。）</p>	<p>少人数保育の良さについて否定するものではありませんが、審議会でも協議されたように、幼児期の子どもたちに必要な「協同的な学び」を確保するための集団活動等を行うにあたり、ある程度の集団規模が必要であり、その規模は、「1学級同年齢で15～30人」と考えます。</p>
6	11-⑪	<p>少人数での保育は、子どもをしっかり見て頂けるし、のびのびと生活しているので、良いと思う。</p>	<p>また、ある程度の集団規模であれば、少人数に分けることもでき、必要に応じて、少人数の良さを取り入れた保育、教育をすることが可能です。</p>

No	整理 番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
<b>3 保護者ニーズへの具体的な方策</b>			
<b>(1) 3歳児保育</b>			
7	4-②	就労の有無に関わらず、3歳児保育を希望している保護者が多い。3歳児保育や預かり保育の拡充のためには多くの人手が必要。先生方が長く勤められる環境づくりを考えてほしい。	<p>基本方針（案）のとおり、3歳児保育に対するニーズは大変高い状況であり、望ましい集団規模を確保し子どもたちにとってより良い教育環境を整えることを前提として、3歳児保育を実施してまいります。</p> <p>なお、3歳児保育の実施園等、詳細については、今後、市立幼稚園の再編計画を策定し、お示しする予定としております。</p> <p>また、3歳児保育を実施する場合や預かり保育を拡充する際には、必要となる職員の配置についても検討してまいります。</p>
8	6-①	実施してほしい。	
9	9-③	2019年10月から保育料無償化になるので2020年4月より3年保育を開始してほしい。	
10	10-①	3歳児保育を公立でも始めてもらいたい。	
11	11-④	3歳児保育等の実施に向け1年でも早く、早急に変更してほしい。	
12	11-⑦	非常に望ましい。(共働き家庭が増加する中、子どもを預ける場所が増えるのは当然と言える。又、少子化が進む中、子ども同士が関わる機会が増えるのは良いことだと思う。)	
<b>(2) 預かり保育</b>			
13	1-②	働く保護者にとっては、夏休みが大問題であり、公立幼稚園でも長期休みに預かり保育をしてほしい。	<p>現在、市立幼稚園では、子育て支援型の預かり保育を週2～3回程度実施しています。基本方針（案）のとおり、預かり保育については、就労支援型ではなく、子育て支援型として継続することとし、回数、時間等の拡充を検討します。</p> <p>長期休業中や朝夜の時間延長など、就労を支援するための方策として、市内の就学前施設の配置や地域性にも考慮しながら、市立幼稚園の認定こども園への移行を進めてまいります。</p>
14	4-③	平日全ての曜日に対応の上、おやつ提供も希望する。就労している保護者にとっては、長期休業中も預かり保育を実施して頂けたら大変ありがたい。	
15	6-③	延長保育を毎日実施してほしい。延長保育の時間を延長（17時まで）してほしい。幼稚園の開始時刻を早めてほしい（8時15分頃）。	
16	9-④	預かり保育は就業支援と子育て支援と分けてはどうか。仕事されている方は毎日17時30分～18時頃までの預かり保育があれば助かると思う。	
17	11-⑧	賛成する。特に女性の社会進出を促す上で、子の預け先の確保が大前提なので、預かり時間、日数が増えるのも重要。	

No	整理 番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
<b>(3) 認定こども園</b>			
18	2-①	<p>「高齢化が進む高平地区におけるこども園の必要性和3年保育化の必要性を考える」</p> <p>引っ越し後、ニュータウンと郊外の格差があることに気付かされた。</p> <p>高平地区にあるのは、2年制の幼稚園のみで、保育園は待機状態。高平地区からはどこも片道30分程度の距離で、やむをえず希望していた保育園の一時預かりに入れるほかなかった。子供を育てる環境の乏しさから、高平を選ばなかった、もしくは離れざるをえなかった人がいるのも事実。</p> <p>幼稚園に子供を預ける親であっても14時までのお迎えに間に合う隙間の時間を使って働きに出ている人も少なくない。フルタイムで働くならなおさら、育児における高平の不便さは否めない。</p> <p>高平には季節をたっぷり感じる自然と、地域で子供を見守ってくださる優しい人でいっぱい。田植えに始まり、川遊び、芋掘り、山での遊び、自然観察。こんな豊かな環境の中で子育てできることに本当に感謝している。</p> <p>今年から公立幼稚園で過ごす次男は、「幼稚園の方が楽しい！」と毎日ウキウキして出かけ、地域の協力員さんのサポートのもと色々な新しい体験をさせてもらえるのが楽しいようだ。</p> <p>長女は、現在保育園の待機待ち。週に2回ほど保育園の一時預かりに行っており、慣らし保育中ということもあり、送り迎えを考えると実質2時間半弱の保育になるが、それでも親にとっては仕事のための時間確保の手段が他にないため、頑張るしかない。田舎で子育てを考える人に、もっと自信を持っておすすめできる環境を作ってほしいというのが私の願い。田舎暮らし、自然の中での子育てが見直されているなかでの高平生活の価値は低くない。</p> <p>子育て世代の受け入れを促進させることにより、高齢化が進む高平地区で高齢者に対するフォローや見守り、将来的にそれに付随する雇用も充実させることができるオリジナリティのある街づくりができるのではないかと。少しでも多くのお母さんが育児を負担に感じることなく、こども園、幼稚園という行政の助けを借りながら、農村地域（高平）でも自然豊かな環境でのびのびした子育てを経験することができたらと思う。</p>	<p>基本方針（案）の通り、幼児期は、多様な個性に触れ、集団の中で遊びを通して触れあい、成長を促すという視点が必要であり、主体性や協調性を育むためには、ある程度の集団規模が必要であると考えます。</p> <p>審議会からは、「就学前施設の全市的なバランスを考えると、三田駅周辺、ニュータウンに保育園所、認定こども園が多数設置されているのに対し、国道176号より東側には保育所的な機能を有する施設がない。」「今後の園児数の推移、保育ニーズ、全市的な地域バランス、通園の安全性等も考慮しつつ、集団規模の確保とあわせて、市立幼稚園地域での就学前施設（市立幼稚園、幼保連携型認定こども園）の適正配置についても、早急に検討されたい。」との審議会答申をいただいたところです。</p> <p>どこに居住しても、ある程度の集団規模の中で、一定の教育、保育が受けられる条件や環境を整えることが肝要であり、農村地域を含めて全市的な対応が可能となるよう、市内就学前施設の地域バランス等も考慮しつつ、市立幼稚園の適正配置、認定こども園化等を進めてまいります。</p>

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
19	9-⑤	保育所と幼稚園が一体化した認定こども園へ移行することは有意義だが、人数的に既存の幼稚園施設を利用することは難しいのではないかと思うが、できるだけ既存の施設を利用する方法を工夫することが望ましい。	
20	11-⑩	職場が遠く、朝早くから預けたい。市立幼稚園の3歳児保育、認定こども園を早く導入してほしい。	
21	3-①	<p>市立幼稚園の認定子ども園化について、3歳児からの受け入れ開始や預かり時間の延長など保護者にとっての要望を満たすことは望ましいことと思うが、デメリットについて一切、触れられていない点が気にかかる。</p> <p>例えば、公立幼稚園では、降園後も子どもたちは園庭で自由に遊び、その間、保護者は見守りながら、保護者同士や先生方とコミュニケーションを取ることができている。こういった場があることは子育て中の親子にとって大変ありがたいこと。しかし、認定子ども園になると、幼稚園としての降園時間後は保育園としての役割を果たす時間になるため、それに該当しない園児、保護者は一斉に敷地外に出なければならなくなると聞いている。</p> <p>認定子ども園化によって訪れるのは良い変化だけなのか。保護者のニーズや認定子ども園化することの良い面は十分に伝わっているが、マイナス面が少しでも考えられるのであれば、その点もきちんと説明した上で認定子ども園化に向かうことを望む。</p>	<p>審議会においても、認定こども園を実施した場合の懸念として、「降園後に先生や他の子どもとのふれ合いがなくなるのではないか」等の意見がありました。認定こども園化された場合の保護者同士や職員とのコミュニケーションについても、そういった機会の確保が図れるよう工夫してまいります。</p> <p>園の実態に応じて、保護者、地域の方のご理解をいただきながら、子どもにとってより良い教育、保育の場となるよう努めてまいります。</p>
<b>(4) 適正配置について</b>			
22	6-④	統廃合にあたって、小野幼稚園は他幼稚園の中心部に位置するので、残してほしい。	<p>望ましい集団規模を確保し子どもたちにとってより良い教育環境を整えることを前提として、就学前施設の適正な配置について検討していきます。</p> <p>なお、詳細については、今後、市立幼稚園の再編計画を策定し、お示しする予定としております。</p>
23	9-②	1学級の人数15人をボーダーラインとして、満たす幼稚園は存続。満たさない幼稚園は統合する。	
24	9-⑥	統合後の場所としては、対象幼稚園のだいたい中間地で、田畑に囲まれ、ゆったりとした環境にある小野幼稚園が適しているのではないか。(ただし駐車スペースの確保が課題だが、住宅密集地ではない点で他の幼稚園と比べても苦情は少ないのではないか)。	

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応	
25	11-①	松が丘幼稚園をなくさないでほしい。（食育の取組が素晴らしい。幼小の縦のつながりも良く、安心して小学校に上げることができる。園児の興味のあること、やりたい事を先生に伝え、先生はそのことに答えてくれる、興味を深めてくれるところが良い。教室もたくさんあり、駐車場も広いので、遠方の方も通いやすい。）		
26	11-⑤	駐車場、通園路の設備が整い、園児を大切に幅広く目を向けて下さる先生方のおられる園での再編成をお願いする。 国道176号で線引きすればスムーズに変更できるのではないかな。		
27	11-⑥	松が丘の立地、駐車場、土地すべてにおいて再編しやすい場所だと思うので、再編の際は松が丘にと思う。松が丘幼稚園が30年前のように活気ある幼稚園になればと願う。元々友が丘に住んでいて、結婚してまた、友が丘に住む子育て世代は多いので、これから子どもが増えるのではないかなと思う。		
28	11-⑬	小学校へのスムーズな移行のためにも、再編されて、居住地区に幼稚園がなくなれば困る。		
29	4-⑤	条件の異なる園から選べるように、駐車スペースの確保、通園バスの導入をしてほしい。		
30	8-②	「さんだの子育て支援についてのアンケート調査」においても「就学前施設を選ぶ際に重視するポイント」として、8割以上の保護者が「自宅からの距離」を挙げているように、集団規模の確保を眼目とした適正配置を行っては、とうてい住民の意向を満足できないことは明らかである。		
31	9-⑦	自宅から幼稚園への距離のある方、仕事されている方を中心に通園バスは必要。降園後に子どもが園庭でともだちと遊んだり、保護者が先生と話ができるように選択制もいいのかと思う。		
32	11-③	第2子も松が丘幼稚園に入園させたいが、統廃合が決まり、遠くの園に行くことになれば、園のバスを導入してほしい。		
				就学前施設を選ぶ際のポイントとして「自宅からの距離」を重視している保護者が多数おられることは承知しておりますが、特に少子化の進んだ農村部において、望ましい集団規模を確保しながら、自宅から近い場所に就学前施設を配置することは、本市の地域性から大変困難であると考えます。 従って、基本方針（案）では、幼稚園の再編にあたっては、市立幼稚園地域内での通園バスの導入について検討することとしております。

No	整理 番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
<b>その他</b>			
33	1-①	<p><b>【公立幼稚園の良さ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の質がよい。</li> </ul> <p>（月ごとに保育内容の目標を決まっておき、成長が目に見えて分かる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験豊富な先生方。</li> </ul> <p>（気持ちに余裕があり大声をあげることもなく、大きな愛を持って接してくれる。園児の話をよく聞いてくれ、待ってくれる。たくさん褒めてくれる。気持ちを尊重してくれる。それによって自己肯定感が育まれている。この時期一番大事なこと。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 預かり保育の内容の充実。</li> </ul> <p>（外遊び、工作の工夫。毎回違った作品を作らせてくれる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生の広い園庭で、裸足でのびのび過ごせる。</li> <li>・ 畑や実のなる木があり、季節が変わる度に収穫できる。食育にもいい。</li> <li>・ 隣接する小学校との交流。</li> </ul> <p>（よく交流しているので、進学の際、環境の変化にスムーズに対処できる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育料が低額。</li> <li>・ 三田市の給食のバラエティの豊富さ、栄養バランスは素晴らしく、入学前からそのメニューに慣れられる。</li> </ul> <p><b>【もっと園児が増える為に変更したらよいと思う点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明会でもっとアピールする。</li> </ul> <p>（他幼稚園と比べていい部分がたくさんあるのにあまりにも営業力がない。迷っている保護者は私立に流れる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三輪幼稚園に「徒歩、自転車で通える範囲」を「市内在住者」に変える。</li> </ul> <p>（ニュータウンに住む友人達に話を聞くと通わせたいと言っている）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドライブスルー送迎。</li> </ul> <p>（都市部に多いスタイル、保護者は車に乗ったまま。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制服のデザインチェンジ。</li> </ul> <p>（今のデザインはあまりにも酷い。可愛い時期なのに残念。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お母さんが働くことも可能なことを周知させる。</li> </ul> <p>（実際半数以上が働いているのではないか。）</p> <p>公立幼稚園は素晴らしいのに近年人気がないのが残念。</p>	<p>評価いただいた市立幼稚園の良さを再編後の就学前施設にも引き継いでまいります。</p> <p>市立幼稚園については、現在定員内であれば市内のどこに住んでおられても入園していただけます。ただし、三田幼稚園・三輪幼稚園は駐車スペース等がないことから車での送迎をお断りしている状況です。</p> <p>このような状況から、基本方針（案）では、幼稚園の再編にあたっては送迎のための駐車スペースの確保についても検討していくこととしています。</p>

No	整理番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
34	4-④	<p>保護者が園を選ぶ時のポイントは、通園の利便性、給食の有無、カリキュラムの充実さ、施設・設備の清潔さ、セキュリティ、保育料、イベントの回数等様々である。</p> <p>保育所・認定保育園・幼稚園のそれぞれの良い所・悪い所をよく見て、改善すべき点は改善してほしい。</p>	<p>保護者ニーズを十分把握し、改善すべき点は改善しながら、皆さまに選ばれる園になるよう引き続き努めてまいります。</p>
35	11-⑫	<p>先生方が疲弊すると子どもにも良くないと思うので、先生方の負担はなるべく少なくしてほしい。</p>	<p>直接子どもの教育・保育にあたる職員は子どもにとって大きな影響を与えることから、職員の負担にも配慮しながら、具体的な検討を進めてまいります。</p>
36	12-①	<p>息子が公立幼稚園に楽しく通っており、ありがたく思っている。</p> <p><b>【通わせてみて、良かった点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週3回、延長保育がある。その延長保育も、園庭で遊んだり、手の込んだ工作など、内容が充実している。</li> <li>・給食がある。その給食は、小学校と同じメニューで、小学校入学のときのストレスが少なくすむ。</li> <li>・先生方が、一人一人細部まで観察してくれている(手厚い)</li> <li>・わくわく体操を取り入れている。</li> <li>・年長児と頻繁に交流し、お手本となってくれる。</li> <li>・小学校とも頻繁に交流しており、入学時のストレスが少なくすむ。</li> <li>・老人会や婦人会、大学生、中学生など、地域の方との交流もある。</li> <li>・私立ほどではないにせよ、英語の先生もきてくれる。</li> <li>・和太鼓などの楽器も充実している。</li> </ul> <p><b>【改善して頂きたい点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半ズボンのたけが短すぎる。(下着が見え、防犯の点で良くないと思う。)</li> <li>・長ズボンは、丈の調節がしにくい。(黒いゴムは不要と思う。)</li> </ul> <p><b>【可能であれば、してほしいこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体操の先生も、一学期に一度くらいでいいのでよんでほしい！(鉄棒など)</li> <li>・終業式前日まで給食を食べさせてほしい。</li> <li>・延長保育の日を増やしてほしい。</li> </ul>	<p>評価いただいた市立幼稚園の良さを再編後の就学前施設にも引き継いでまいります。いただいたご意見は、今後、具体的に再編を行う際の参考とさせていただきます。</p>

No	整理 番号	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
37	5-①	娘が私立園に通っている。給食として、近隣市から配達されるお弁当を食べているが、冷たいご飯で、スープもない。出来たら、園内で作った温かい料理・ご飯を食べさせてあげたいので、そのような環境について検討してほしい。それが困難であれば、給食センターから配達して頂き、地産の食材を食べることで、食べる喜び・感謝の気持ちを学ばせたい。	今回お示ししている基本方針（案）は、市立幼稚園を対象とするものであり、私立園に関する事項については、含まれておりません。 なお、認定こども園については、0～2歳は施設内で調理する方法（自園調理）により行わなければならないことから、市立幼稚園を認定こども園化した場合については、これらの基準を満たすよう検討を進めてまいります。
38	7-①	A私立園の入園は、近所に住んでいるか等は一切関係なく、当日に電話がつながった順の受付。 最低限近所の園に入園しやすい位の配慮をしたらと思う。	三田市では就学前児童の多くが、私立の認定こども園・保育園・幼稚園で教育、保育を受けており、その運営は各設置者の方針により行われております。 今回の基本方針は、市立幼稚園を対象としたものであることをご理解ください。
39	10-②	一部私立保育園で行われている一時保育は、4時間2,000円の利用料金が高く感じる。子どもを一時保育に預けたいと思うが、週に一回、月4回で8,000円、年で9万弱かかるのは家計的に大変厳しい。保育料と同じく、兄弟割引等があればと思う。	
40	6-②	保育料無償化を早急にしてほしい（2019年1月1日からでも）	幼児教育の無償化については、現在、国で検討されているところです。国の動向について、今後も注視してまいります。